

2010年3月17日

報道関係各位

～フランス・DGF社とユーロパンが創設した「モンドリアル・デ・ザール・シュクレ協会」
男女混合チームによる製菓の国際コンクール～
『ル・モンドリアル・デ・ザール・シュクレ2010』結果発表
- 栄えある第1位に日本チームが -

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社（以下 JFLA）の事業子会社である株式会社アルカン（本社：東京都中央区／代表取締役社長：野田智彦、以下 アルカン）が輸入する、製菓材料の総合メーカー・フランスの「DGF社」と、パリ国際製パン・菓子見本市「ユーロパン」の実行委員会は、2010年3月6日（土）からの3日間、「ユーロパン2010」において、男女混合チームによる第2回目の国際製菓コンクール『ル・モンドリアル・デ・ザール・シュクレ2010』を開催いたしました。

この『ル・モンドリアル・デ・ザール・シュクレ2010』には、世界10カ国から各国を代表するトップレベルのプロのパティシエたちが参加し、「ユーロパン2010」の会場であるパリ・ノール見本市会場にて開催されました。今回が第2回目の開催ではあるものの、出場者の実力、作品のレベルの高さ、コンクールの規模からみて、既に世界レベルに達しているコンクールであるとの高い評価を受けました。

出場者には、高い技術力、創造性や芸術性だけでなく、味覚に対する高いレベルの感性が求められます。チームごとに定めた自由テーマに基づいて作られる作品は、あめ細工やアントルメ、チョコレートなど7種類にのぼり、21時間で全てを完成させることが要求されるなど、非常に過酷な戦いが繰り広げられました。今回のコンクールでは、採点の基準として重要視されるのは、“見た目の美しさ”のみならず、試食審査による“美味しさ”も挙げられます。パスティヤージュ、あめ細工、チョコレートのピエス作品では“技術力”や“芸術性”を、生プティフル、ピスタチオのトリロジー、チョコレートボンボン、グラス入りデザートを含む皿盛りデザートでは“美味しさ”を審査した総合評価で、上位国の接戦となりました。

激戦の結果、栄えある第1位に“*Aquatique*”というテーマで臨んだ勝間建次（かつまけんじ）氏と、谷道理絵（たにみちりえ）氏の日本チームが見事選ばれました。ともに、2008年に「内海杯」で優勝し、「オクシタニアル（東京都港区麻布台）」に勤務しており、出場前から活躍が期待されていた息の合ったチームです。

本コンクールは、世界初の男女混合チームによるパティスリーの国際コンクールであり、様々な分野において多くの女性が活躍する中で、パティスリー業界における女性の活躍に注目し、「パティシエール（女性のパティシエ）」に対する評価を高めるといった目的もあり、創設に至りました。第2回目となる今回よりパティシエールも必ず1つ芸術ピエスを作ることが、競技規則に新たに定められました。

次回の開催は、2012年の予定となっています。

【コンクール結果】

上位順位	国名	テーマ	制作者
第1位	日本	<i>Aquatique</i>	勝間 建次 谷道 理絵
第2位	フランス	<i>Les pirates et la bataille des vents</i>	Mr.Frank WENZ Ms.Audrey GELLET
第3位	ウクライナ	<i>Magie de la pierre</i>	Mr.Igor ZARITSKI Ms.Alla BELOUSSOVA

その他特別賞	国名	テーマ	制作者
DGF 賞	スイス	<i>Nature féerique</i>	Mr.Guillaume BICHET Ms.Nadège BONZON
ユーロパン賞	モロッコ	<i>Le printemps</i>	Mr.Mohamed ALAHMOUM Ms.Noura FALLAHI
ジャーナリスト 特別賞	アイルランド	<i>Mythologie irlandaise</i>	Mr.Anthony KELLY Ms.Lisa O'BRIEN

【コンクール概要】

- コンクール名： ル・モンドリアル・デ・ザール・シュクレ 2010 (*Le Mondial des Arts Sucrés 2010*)
 開催回数： 第2回 次回は2012年開催予定
 開催日程： 2010年3月6日(土)～8日(月)
 開催場所： パリ・ノール見本市会場 (*Parc des Expositions de Paris Nord VILLEPINTE*)
 「ユーロパン 2010」開催会場
 主催： モンディアル・デ・ザール・シュクレ協会 (*Association du Mondial des Arts Sucrés*)
 DGF (*Distributeurs Grossistes de France*)、ユーロパン (*EUROPAIN*)
 参加国数： 10カ国 (日本、メキシコ、モロッコ、ベトナム、フランス、ロシア、
 ウクライナ、香港、アイルランド、スイス)
 本選の内容： 21時間での実技審査、テーマ設定は自由 (要事前申請)
 < 競技で製作する作品 >
 パスティヤージュのピエス1点
 砂糖細工のピエス1点
 チョコレートのピエス1点
 生プティフル3点 (タルトレット1点、シュー生地菓子1点、自由作品1点)
 ピスタチオのトリロジー1点
 (アントルメ1点+プティガトー1点+プティフル1点)
 チョコレートボンボン3点
 (フルーツガナッシュ1点+プラリネ1点+自由作品1点)
 グラス入りデザートを含む皿盛りデザート1点
 賞： 上位3チームが入賞、賞金ならびにトロフィー、メダルを授与
 賞金：第1位8000ユーロ、第2位4000ユーロ、第3位3000ユーロ

DGF (Distributeurs Grossistes de France) について

DGF は、フランス製菓材料開発者の第一人者ジャッキー・ジレが 1986 年に創立。以来、MOF 有資格者が技術指導・品質管理・開発を担当、品質を第一として“プロ”の視点に立ち作業性を追求した製品開発を行っています。DGF が取扱う商品数は 1,500 商品、4,500 アイテムにのぼり、パティスリーにおいて必要とされる“すべての商品”を備えています。また、これら DGF 製品のディストリビューターは、フランス国内に 40 社以上、また日本を含め海外にも 20 社以上あります。パリ西郊のシャントルーにある本社にはプロフェッショナルのための学校としてインターナショナル・キュリナリー・スクールを併設しています。この講師陣には MOF も多数加わり、多種多様のコースが開講されています。

DGF 商品輸入・販売元：株式会社アルカン

株式会社アルカンについて

株式会社アルカンは 1980 年の創業以来、約 30 年余りにわたって、フランス料理等の食材をヨーロッパより輸入し、全国の有名ホテル・レストラン等へ供給する専門商社としてスタートしました。この分野では草分け的存在とされており、現在の取扱商品は、ホテル・レストラン向け業務用食材のみならず、製菓用材料、百貨店・スペシャリティストア向けのグロッサリー食品や、ワインなどの酒類等、多彩な商品群となっています。

<アルカンサイト URL : <http://www.arcane-jp.com/>>

ジャパン・フード&リカー・アライアンスグループ (JFLA グループ) について

JFLA グループは、持株会社である「ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社」のもと、食品・酒類製造、高級食材・酒類輸入、外食事業、ならびに販売会社等の機能を有した 23 社のメンバー企業が集合する、新しい形の食品関連企業グループです。当社グループは、風土に根ざした伝統的な食文化を継承しながら、ますます多様化するお客様のニーズに応える商品ならびにサービスをお届けすることで、健康で豊かな食生活に貢献してまいります。

<JFLA サイト URL : <http://www.j-fla.com/>>

【主な JFLA グループメンバー企業 (2009 年 10 月 1 日現在)】

- 食品・酒類製造...マルキン忠勇株式会社 / 盛田株式会社 / 株式会社高橋弥次右衛門商店 / 加賀屋醤油株式会社 / 株式会社ハイピース / 聖酒造株式会社* / 加賀の井酒造株式会社* / 藤井酒造株式会社* / 株式会社老田酒造店* / 中川酒造株式会社* / 株式会社岡田屋本店* / 白龍酒造株式会社* / 見砂酒造株式会社*
- グループメーカー商品販売会社...JFLA 販売株式会社 食品・酒類輸入販売...株式会社アルカン
- 酒造会社統括管理および投資...株式会社伝統蔵 (上記* は株式会社伝統蔵傘下の地酒メーカー、現在 8 社)
- 外食事業...モリタフードサービス株式会社

.....

<報道機関のお問合せ先>

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社
 管理本部 広報・IR 部
 tel:03-5614-6671 fax:03-3660-1421



ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社
本社 〒761-4498 香川県小豆郡小豆島町苗羽甲1850番地
大阪本社 〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1丁目8番33号
東京本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目5番6号
www.j-fla.com

Japan Food & Liquor Alliance Inc
Headquarters 1850 Koh Nouma Shodoshima-cho Shozu-gun
Kagawa Japan 761-4498
Osaka Office 1-8-33 Kyomachibori Nishi-ku
Osaka Japan 550-0003
Tokyo Office 1-5-6 Nihonbashi kakigara-cho Chuo-ku
Tokyo Japan 103-0014
www.j-fla.com